

研修 評価

研修名	地域包括ケアシステムにおける在宅療養に向けた看護管理者の実践的研修				
領域	政策提言に向けた研修	会場	看護研修センター	受講料	会 員：6,160 円 非会員：12,320 円
対 象	病院の看護管理者または補佐と地域連携に携わっている看護職員（2名ペアで参加）介護福祉施設の看護職、訪問看護に従事する看護職、市町村行政の看護職及びケアマネジャー、相談員、MSW等参加を希望する者 募集数(60人)応募数(32人)参加数(30人)会員数(29人)非会員数(1人)				
日 時	令和 5年 12月15、16日（金・土曜日） 10：00 ～16：00				
ねらい（目標）	地域で暮らし続けるための連携やシステムを考え、実践につなげる				
講 師	宇都宮宏子 報告者：高橋みはる、井口峰子、高橋 美佳子、佐藤 麻由子、秋山 貴子				
内容・方法	○講義内容 ・組織内・地域の課題整理 ・地域で暮らし続けるための連携やシステムを考える ○研修方法 ・講義 ・現状報告：紹介受診重点医療機関、かかりつけ医機能を提供する医療機関の現状と課題／訪問看護ステーション、地域包括支援センター、行政保健所による在宅支援の現状と課題 ・GW				
結果・評価 (受講者の意見感想)	○評価方法：アンケート結果 ○自己課題の達成度：達成できた、ほぼ達成できた 100% ○受講者の満足度：満足できた ほぼ満足できた 100% ○整合性：整合性があった、ほぼあった 100% ・グループワークでは自施設における課題、地域との課題に気づくことができた ・病棟-外来、訪問看護や地域との連携について学びを深めた。今後の活用につなげたい。 ・同じ地域の病院以外の方達と話す機会が欲しかった。				
企画の評価	○目標・内容・プログラムの妥当性 ・退院支援看護師やMSWと退院支援を実践していきたいという意見が聞かれ、プログラムは妥当であった。 ○事前準備・当日の運営など ・事前課題を持参しない方がおり、全員分コピーすることになった ・1日目と2日目でグループメンバー構成が変わったがグループワークのセッティングはスムーズだった				
課 題	研修案内時、事前課題を持参するよう周知が必要				
担当者	教育委員				